

第17回  
中部地区路面電車サミット金沢大会

# LRT時代の 新たな幕開け

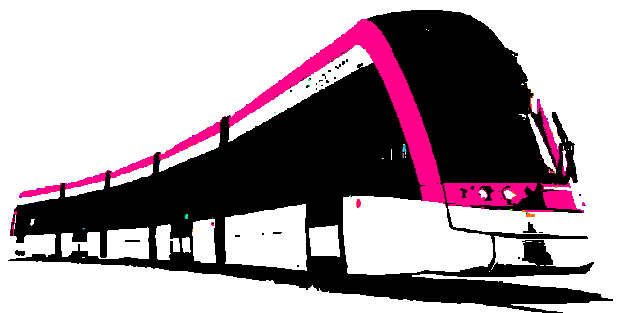
—宇都宮、そして金沢—

2018年9月29日(土)

金沢歌劇座 2F大集会室

金沢市下本多町6-27

参加費：講演会 500円 交流会 4,500円



環境、福祉、まちづくりの観点から注目される、次世代型路面電車（LRT/ライトレール）

2018年5月。余曲折を経て、ついに宇都宮市で全線新設のLRTが着工されました。

\*

「水平のエレベーター」「走る回廊」と呼ばれ、世界中で再生が進んできた路面電車。

日本でも、その新たなステージが幕を開けました。

一般公開 講演会

「宇都宮のLRT—これまでとこれから」

宇都宮大学名誉教授 古池弘隆氏

13:30 受付

14:00 講演会

※事前申込み不要。自由にご参加いただけます。

中部地区

路面電車愛好支援団体協議会

15:30 全体会議

・加盟団体近況・活動報告

・次回開催地の協議

17:00 交流会

カフェアルコ フレーゴにて

主催：金沢・LRTと暮らしを考える会

共催：中部地区路面電車愛好支援団体協議会、富山大学都市デザイン学部都市政策支援ユニット、  
とよはし市電を愛する会、NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）、路面電車と都市の  
未来を考える会・高岡（RACDA 高岡）、万葉線を愛する会、ASITA（北勢線とまち育みを考える会）、  
岐阜未来研究団、関に電車を望む会、LRTで結ぶ会（順不同）

協賛：NPO法人 市民環境プロジェクト、明日の金沢の交通を考える市民会議

# 宇都宮のLRT —これまでとこれから—

2018年5月。日本で初めてLRTの全線新設に着手した宇都宮。  
わが国で最も早くLRTの計画案を作成した金沢。

両中核市において、都市圏の公共交通の〈軸〉として次世代型  
路面電車〈LRT〉の果たす役割は大きいといえます。

一歩先じた宇都宮の挑戦は、全国各地での、鉄軌道を最大限に  
活かした公共交通再編のモデルケースとなります。

今後、AIやIoT、自動運転の技術を活用したモビリティの進化と  
多様化が急速に進むと予想されます。そんな中、不動の〈軸〉と  
して都市の公共交通を支えていく路面電車は、単なる交通手段で  
はなく地域に欠かせない社会インフラとして、その存在感をま  
ます高めていくことでしょう。

本講演では、宇都宮市の具体的な事例をもとに、いかにLRTを  
実現し、そして、それをどのように〈まちづくり〉に活かしてい  
くか、そのための課題と展望を語っていただきます。

## 講師紹介

### 古池弘隆（こいけ・ひろたか）

1940年、福岡県出身。

ワシントン大学大学院博士課程修了、カナダBC州立研究所計算センター長、  
宇都宮大学工学部教授などを経て、現在、宇都宮大学名誉教授。

主な専門分野は交通計画、都市・地域計画。

1992年、宇都宮都市圏総合都市交通体系調査（パーソン・トリップ調査）  
に関わり、宇都宮の都市交通の実態、課題を研究。2001年から「新交通  
システム導入基本計画策定調査委員会」委員長として、宇都宮でのLRT  
導入計画を策定、その実現に尽力している。

